

英国二次資料展の開催

英国大使館より文部省学術国際局情報図書館課を通じ、英国における抄録、索引等の二次資料約200点が下記のとおり展示されて、同国の学術情報活動の一端に触れることができた。開催期間中には約300名の教職員および学生の来館があった。

記

附属図書館	6月 9日(火)～11日(金)
農学部図書室	6月14日(月)～15日(火)
医学図書館	6月17日(木)

第23回 国立大学図書館協議会総会

〈とき〉 昭和51年6月4日(金)～5日(土)

〈ところ〉 名古屋ターミナルホテル

昭和51年度総会は、東海地区を当番館として名古屋市で開催された。

第1日の午前には、各特別委員会、調査研究班の報告、新役員館の選出があったのち、岸本奨励賞表彰式が行われた。本年は「東洋学関係資料(石浜文庫)の整備に関する功績」で、9年間の努力が実って大阪外大布川掛長、「理工系大学における図書館業務の電算化」で成果をあげた東工大ワーキンググループ、「大学図書館における目録業務の改善」に独創性と努力を認められた広品川掛長が選ばれた。

午後は、文部省説明があったのち、「大学図書館改善要項の改訂をめぐる諸問題」をテーマに研

究集会がもたれた。研究集会は、本協議会に設置された、「大学図書館改善」調査研究班の各委員による事項別報告を基として討論が行なわれたが、終始熱気に満ちた2時間であった。

第2日目は、全国9地区より提出された協議題について、3分科に分かれ、第1は、一般的事項及び運営に関する問題、第2は、予算及び人事、第3は、奉仕及び技術的問題について各々協議が行なわれ、そのまとめが、午後の全体会議に報告され、さらに討議が重ねられた後、ある事項については既設の特別委員会等でさらに検討する。また、文部省その他に要望する事項が整備され、これらの具体的取扱いについては総括理事会に一任され総会は終了した。

第45回 近畿地区国公立大学図書館協議会総会

〈とき〉 昭和51年5月7日(金)

〈ところ〉 大阪市天王寺「なにわ会館」

昭和51年度総会は、文部省情報図書館課沙藤専門員の出席を得、大阪府立大学を当番館として開催された。

前年度事業の一般経過報告につづいて、企画、

参考図書、図書館統計の各委員会報告が、各主査から行なわれた。

つづいて、本年度は役員館の改選期に当るので、これの選出が行なわれた。その結果、以下の各大学が選出された。

幹事館：京都大学・大阪市立大学 主査館：大阪